

港から広がる地域や人々を、
24時間津波から守ります。



地震が予知され、警戒宣言が発令された時には、指定された避難地に、また突然の大地震では、時間に余裕がないため、高台や、津波避難ビルに避難してください。



- 東名 沼津IC・新東名 長泉沼津ICから車で20分
- JR 沼津駅南口から沼津港行きバスで約10～15分
沼津港またはびゅうお入り口下車



- 開館時間／10時～20時
木曜日は施設メンテナンスのため 開館時間／10時～14時（閉館15時）
- 休館日／無休
- 入館料／大人100円 小・中学生50円
- 所在地／静岡県沼津市千本1905番地の27
- お問い合わせ／NPO法人 沼津観光協会 ☎055-964-1300

NPO法人 沼津観光協会
☎055-964-1300

住所：静岡県沼津市大手町 1-1-1 アントレ2階

沼津港大型展望水門



ウーエー

360°の眺望! パノラマ展望台!

地上30mからの眺望を360°愉しむ

眼下に広がる千本松原、世界文化遺産の富士山、弓なりの水平線が続く駿河湾を囲む大パノラマ

沼津港大型展望水門「びゅうお」は、沼津港内港・外港を結ぶ航路より浸入する津波から港の背後地50haと9,000人を守るために作られた水門です。津波をシャットアウトする扉体(ひたい)は、幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級です。この大きな扉体を支える躯体の大きさ・高さを生かし、沼津市が展望施設を併設しました。

展望施設へは、両岸に設置した13人乗りのエレベーターで昇ることができます。両岸に設置された機械室の周囲に、地上約30mの展望回廊があります。北側と南側の展望回廊をつなぐ連絡橋は、幅4m、長さ約30mで、北に愛鷹山・富士山・南アルプスを望み、遠く清水まで見渡せます。

また、箱根連山や沼津アルプスを見渡し、眼下に広がる我入道海岸の先には駿河湾に突き出した大瀬崎をくっきりと見ることができ、東西南北360°の展望を楽しめます。



「びゅうお」のしくみ

遠方監視及び操作

1 沼津土木事務所と「びゅうお」の間は、光ケーブルによって接続されています。沼津土木事務所に設置されている遠方監視装置には、ITV監視制御用端末、ゲート監視用端末が装備されており、水門及び周辺の状況監視が可能となっています。

地震発生時の自動操作

2 水門周辺に設置された3台の感震器のうち2台が250ガル(震度6弱相当)以上を感知した場合には、水門が自動的に降下し、津波の襲来に備えるようになっています。

自重降下

3 緊急時に水門扉を閉鎖する場合には、管理棟からの遠隔操作や水門側での機側操作により「自重降下操作」ができます。

